

第4問 下記の文章を読み、() に当てはまる最も適切な用語を下記の空欄に書き込みなさい。

1. 臨床心理学には、大きな2つの活動がある。(①)と心理療法である。(①)の方法として、Kaufman 夫妻が開発した(②)や Wechsler が開発し、2006年に刊行された成人用知能検査(③)などがある。また、パーソナリティを測定する検査として、特性論に基づく検査がある。特性論研究で有名な Guilford が因子分析法により作成し、日本語版にもなっている(④)と呼ばれる検査、近年注目されている Big Five モデルに基づく(⑤)という検査もある。投影法を用いて測定するパーソナリティ検査もあり、絵画―連想法を用いる Rosenzweig が考案した(⑥)、Koch が注目し、描かれた木からパーソナリティをつかむ(⑦)などがある。
2. 臨床心理学の対象は個人であることが多い。個人の心の問題を捉えていく際、レベルや分類に関する共通言語を有していることは精神医学や臨床心理に携わる人間には重要である。このような目的で作られた分類がアメリカ精神医学会の(⑧)やWHOの(⑨)である。
3. 臨床心理学が、社会的に貢献できる援助として心理療法がある。これは、大きく分けて心理力動的立場と認知・行動療法的立場がある。前者は、Freud に始まるものであり、発達論的理論に基づいた Winnicott の(⑩)などがあり、後者には Beck の(⑪)などがある。他に Rogers は、(⑫)という心理療法を考え出した。Rogers は、心理療法の3原則として挙げた基本的態度のうち(⑬)を最も重要な要素とした。また、子どもを対象とした心理療法は(⑭)と呼ばれる。日本で行われる(⑮)は Axline の影響が強い。彼女のアプローチは Rogers の指導を受けているので(⑯)と呼ばれる。彼女は(⑰)に対して8つの原則を挙げている。その1つは「あるがままの(⑱)を行う」である。さらに、個人を扱うだけでなく、個人と個人の関係やコミュニケーションに焦点を当てる心理療法もある。Bowen, Bateson, Minuchin らに代表される(⑲)がある。また、Lewin が開発した(⑳)は、自己啓発を目指すグループ・アプローチである。
4. 臨床心理学では、(㉑)、心理療法と共に研究も必要とされている。臨床心理学では、研究すべき対象と共に観察者である研究者も動きながら観察することになる。そこで、研究を行うためには、臨床心理学で用いられる臨床的研究方法がある。1人の対象者に接した結果を取り扱う(㉒)であり、尺度などを使用する(㉓)、実験的研究などがある。

第4問 次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。

臨床心理士であるAは、勤務先の精神科クリニックにて、過食に悩むBさん(30代女性)の心理面接を担当しています。面接を開始して3回目のセッションの数日後、Bさんの彼氏と名乗る男性Cから、Aに電話がありました。CはAに次のように尋ねました。「Bがそちらでカウンセリングを受けていると聞きました。最近Bは気分の浮き沈みが激しく、僕も困っています。そちらでは、Bはどのようなことを話しているのでしょうか？何とか力になりたいと思っているのですが、Bに対してどのように接すればいいか、何かよいアドバイスをいただけませんか？」

問1 心理臨床の専門家における「守秘義務」について、なぜそれが必要となるのかを含めて説明すると共に、上記事例でAはCに対してどのように対応すべきか述べなさい。

問2 守秘義務を越えて第三者に情報を伝えることが許される、もしくは必要とされる主な場合について、3つ挙げなさい。

問3 上記事例について、後の5回目のセッションで、この事例が問2の場合に相当することが分かりました。その際、情報を第三者に伝えるにあたり、どのようなことに注意する必要があるでしょうか。注意すべきポイントについて説明しなさい。